

## 令和3年度 第4回佐久市社会教育委員会議

### 1 開会

### 2 あいさつ

中澤功委員長

### 3 会議事項

#### (1) 各研究大会の参加報告について

- ・第63回全国社会教育研究大会石川大会
- ・令和3年度長野県社会教育研究大会

#### 事務局

令和3年10月28日に開催された第63回全国社会教育研究大会石川大会へは8名、令和3年11月29日に開催された令和3年度長野県社会教育研究大会へは4名の委員にご参加いただきました。それぞれの大会について、参加された委員からレポートをご提出いただきました。レポートの内容についてご質問や補足説明等をお願いします。

#### 委員長

第63回全国社会教育研究大会石川大会における石川県小松市の実践発表は、社会教育委員が自ら企画し活動を進めていくという事例でした。目指す方向性を社会教育委員会全体で共有することは難しいかと思いますが、重要であると感じました。また、「明日の子どもたちを育てる町民会議」という石川県川北町の実践発表からは、子どもたちが行事に参加し、生まれ育った川北町について考えることにより、地元愛が芽生え、「自分たちの町」という意識が生まれるということ学びました。皆さんのレポートを拝見しても、ふるさとについて学び、ふるさとについて考えた、そんな感想が多いと思います。

令和3年度長野県社会教育研究大会での長野県松川町の発表は、絶滅危惧種ツツザキヤマジノギクの保護活動に社会教育委員が参加し、次第に子どもたちも一緒に参加するようになったという事例でした。「ツツザキヤマジノギクを守っていきたい」という熱い気持ちが伝わり、私も熱い想いで活動していきたいと思いました。

## 委員

皆さんの感想を読ませていただいて、「共に成長する」ですとか、「協働」「パートナーシップ」といった共通ワードがレポートに多く、大変興味深いと思いました。また、委員長のレポートに書かれている「地域を人任せにしない、自分たちで守る」という言葉が印象的でした。質問ですが、川北町の町民会議はどういうきっかけで発足されたのでしょうか。

## 委員長

それについて明言はされていませんでしたが、子どもたちが自分たちの意見を発表する場をつくれなにかという社会教育委員の思いから始まったという印象を受けました。

## 委員

佐久地域でも、子どもサミットに類似する事例があると良いと思います。大人が何かを立ち上げると、子どもの目線から見られなくなることも多いので、子どもの意見だけ、という点を参考にしたいです。

## (2) 社会教育委員としての活動のテーマについて

### 事務局

佐久市社会教育委員会として活動するためのテーマを設けることにより、会議を開催するごとに視察や調査などを積み重ね、最終的に委員会全体で何か具体的な活動を成し遂げるため、活動テーマを決めたいと思います。

テーマの決定方法ですが、ワールドカフェ方式というグループワーク形式を採用します。A～Cの3つのグループに分かれ、1セット20分の話し合いを3セット行います。社会教育委員としてどのような課題に取り組みたいか、どのような活動に挑戦したいかを自由に発言していただき、そこからどんなテーマが良いかを話し合ってください。グループワーク終了後、全体での話し合いにより、最終的にテーマを決定します。

～グループワーク～

#### 委員長

それでは、全体での話し合いに移ります。各グループの代表者は発表をお願いします。

#### 委員（Bグループ代表）

1回目のグループワークでは、お年寄りもできる簡単な運動等を取り入れ、地域のコミュニケーションをもっと活発にしたい、また「子どもたちが輝くまち」を目指したい、という意見が出ました。2回目3回目とこれらの意見を深掘りした結果、高齢男性をいかに地域へ引っ張り出すかという課題が見えてきました。比較的女性は外に出て、友人とお話しする機会が多いように思います。一方、男性は出不精で、あまり無駄話をしない傾向があると思います。そこで、男性の参加を促すために、地域の子どもと共に活動するという手法が有効だと考えました。また、男性が得意とすること、例えばそば打ちや飲みニケーションを企画する案も出ました。このように、いかにそれぞれの地域に適したかたちで高齢男性の地域への参加を促すかを課題として話し合うのはいかがでしょうか。

#### 委員（Aグループ代表）

1回目のグループワークでは「コミュニティースクールのコーディネーターを支援していきたい」というテーマと「子育て世代やその他の世代の方たちを含めた居場所づくりについて考えたい」という2つのテーマが挙げられ、異世代の交流を図るという視点や、活動場所をどう確保するか等の視点で話しました。2回目以降は、地域から誰も孤立させないために、居場所づくりの重要性について話しました。孤独を感じ、話を聞いて欲しい時、拠りどころとなる場所を必要としている人が多くいます。佐久市の中にも、個人宅を開放し、孤独を感じている人への居場所づくりをしているお宅等があると思いますが、実態を詳しく知りません。そういった活動をしている個人や市の施設等を調べ、PRする活動をしてはどうかという意見が出ました。

#### 委員（Cグループ代表）

3回のグループワークの中で、共通のキーワードとして出たものが、「居場所」でした。居場所づくりとは、固定した場所にあり、そこへ集まってきてもらう居場所とこちらから相手方に出向き、そこでつくる居場所の2つがあり、どちらも有効だと思います。居場所は心の拠りどころ、多世代の出会いの場所として非常に重要かと思うので、居場所づくりというテーマが良いのではないかとこの意見にまとまりました。

## 委員長

3グループに発表していただいた内容を1つのテーマにまとめたいと思います。みなさんご意見はありますか。

## 事務局

3グループの発表内容に、共通している部分をピックアップすると、「居場所づくり」や「心の拠りどころ」といったキーワードが見えてきます。これらをテーマにしてはいかがでしょうか。

## 委員

居場所づくりを実現させるには、具体的な取り組みが必要になると思います。3グループそれぞれどんな人・もの・場所が必要だと考えたのか発表し、イメージを共有しましょう。具体的な活動案があるとテーマも決めやすいかと思います。Bグループでは、高齢の男性を引っ張り出すにはどうすればよいかという課題について、ご近所さんの範囲であれば個人情報という壁をクリアしつつ地域のコミュニケーションを図れるのではないかという意見が出ました。例えば区長や地域の役員はその地域の情報を持っているので、区長が気がかりだと思える高齢世帯を、近所の子育て世代の方に訪問してもらえないだろうかという案がでました。

## 委員（Aグループ代表）

Aグループでは、佐久市の様々な施設が廃止になっていく中で、子育て世代の集まれる場所も減ってしまうという話になり、「行きたいけれど行く場所がない、どこに行けばよいか分からない」という気持ちを抱えている人が多くいるという問題に直面しました。佐久市の中にも、行政の相談サービスやこども食堂、または個人が開いている、子どもをあずかってご飯食べさせてくれる場所があると思います。そういった場所が、どこにあるのか、どのような形式で運営しているのかという点をリサーチするという活動案がでました。

## 委員（Cグループ代表）

Cグループでは個人情報の取り扱いを心得ている民生委員さんと協働して、独居の人を外へ連れだしたり、こちらから訪問したりすることができないかという案が出ました。

## 委員

Aグループの意見のように、居場所情報を調べて、マップにまとめ公開すると、やはり個人情報問題があると思います。例えば半径 5 km以内の範囲を「ご近所さんマップ」にすれば、個人情報問題はクリアできると思います。

委員長

今日は、社会教員委員会としてどんなことを研究していくかという方向性、大枠を決めましょう。

委員

「居場所づくり」と一言に言っても、その意味する範囲はとても広いと思います。居場所をつくり提供することや居場所情報を調べて共有すること、どちらも良いと思います。

委員長

居場所はその場所ごとに出来方が全く異なり、様々な地域の要素がありながら作られていくものですので、その出来方を勉強していくと、それぞれの地域に合った居場所づくりのヒントを提供できるのではないのでしょうか。

委員

今日は色々なことを考えさせていただいたので、次回の会議に向けて、それぞれの思いを膨らませてきてはどうかと思います。

事務局

では、「居場所づくりについて考える」をテーマと決め、次回以降の会議で、佐久市が誰にとっても居心地の良い居場所になることを目指し、何ができるのか具体的な活動内容について話し合しましょう。

委員長

良いと思います。これで決定としましょう。

(3) その他

委員長

各委員さんから、何かご連絡はありますか。

## 委員

「カフェさくさぼ 10年後の佐久を考える」という学びや暮らしについて取り上げるワークショップのご案内です。今回は山を遠くから見ているだけではなく、近くで見て考える機会をつくろうという企画です。

続いて、佐久平地域丸ごとキャンパスという、高校生や大学生が地域活動の中で活躍するというプログラムのご案内です。例えば、編み物で被災地支援をしている「佐久のわ（和・輪）を編む会」という団体に学生さんが参加した活動などを紹介しています。

また、「Learn by Creation（ラーン・バイ・クリエーション）NAGANO プレイヤーズコネクト 2021」についてですが、軽井沢の「森のようちえんぴっぴ」という、園舎をもたず、森の中で野外保育活動をしている方々や、子育てには都会より田舎の環境の方が良いという考えで移住され、稲作などの生産活動をしている移住者さん、また、次世代を担う学生さんが今どんなことを勉強しているのかを、学生さん自ら紹介してもらおう等、様々な方のお話を聞くことができるオンラインイベントです。

## 委員長

他にありますか。では、事務局から事務連絡をお願いします。

## 事務局

今年度、佐久市教育振興基本計画の改訂を進めております。社会教育委員の皆様には、計画の骨子案や素案をお示しし、社会教育の視点からご意見をいただければと考えております。

また、次回の社会教員委員会議の日程ですが、第1候補日を2月25日（金）午後とさせていただきます。

## 4 閉会